

# 代表質問

## 問 合併協定項目の検証は

## 答 状況判断しながら



創政会代表  
岡田 初雄

**問** 緩やかな合併のために、合併協定項目が協議され、その中に新市発足後、調整されるものがありました。順次、実施され、その結果、行政サービスの低下という評価や課題は残っていませんか。協議する必要はありませんか。

**市長** 宍粟はひとつという考え方から、公平性・公正性を重視し調整を行ってきました。ただ、予想以上に厳しい財政の中では、サービスの低下と感じられたものもあると考えられますが、一定の住民負担やサービスの不均一は、市政運営面から避けて通れません。未調整の項目も残っており、状況を判断しながら検証いたします。

**問** インセンティブ（特典）予算で、職員に知恵と刺激を与え、予算執行段階で事業の見直しや工夫をし、知恵で節約できた予算を、部局の自由裁量で次年度事業に充てることはできませんか。

**市長** 厳しい財政の中で予算をたてている状況であり財政健全化に向けた歳出削減に取り組むことが重要となっていますが、一層の職員の創意工夫、志気を高める点からは検討すべき課題であると考えます。

**問** 宍粟の教育の根幹をなす、しそつ子ども生き生きプランが策定されました。具体的な実践に向けた副読本が必要であると考えますが。

## 教育長

教育実践へ繋がるように様々な手段を講じていく必要があることから、副読本が必要であると考えています。教科書との整合を図り、教職員の声を聞きながら、宍粟市の特色を持たせたものにすべく、早い時期に取組みます。

**問** 医師確保のための医学生への奨学金制度は、今すべきこと、将来に向けてすべきこと等、どう考えますか。

**市長** 現段階では研修医のあるものを考えます。将来に向けては、県との連携も図りながら考えていきます。

**問** 農地保全のための中山間地域直接支払事業の継続と、市独自の支援事業は考えられませんか。

**市長** 事業の継続については機会あるごとに要望しています。耕作放棄地の調査をふまえます。

**問** 国交省の補助もある、公共交通に市営バスの導入は、



完成間近の新庁舎

**市長** 神姫バス路線と重複しない地域については、職員のチームで検討したいと思っています。

**問** 「種」は夢を育みます。千種町に、千の種、夢セクターはできませんか。その名も千種町ですから。

**市長** 地域の中で夢を育てるということでは、ひとつの考え方であると思います。

**問** 市長が議員に対してできる反問権の制度をどう思いますか。

**市長** 議員の質問をより理解し、その趣旨に沿った議論や明確な説明が期待できると考えます。